

時期	1年A巡	単元	実習	教科名	エンジン1 (計測器取扱)
科目	自動車整備	教科書等 持参品	3級/2級ガソリンエンジン自動車 基礎自動車整備作業		発行日
総時限	16時限		日産4級整備テキスト エンジン編		教科担当
必要時限	16時限		実習ノート		
					2023.4.1
					石井 後藤

指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの分解、組立、点検等について指導する。

教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)

- ①エンジンの構成、部品名称、構造、作動を理解する。
- ②一般工具の取り扱い、習熟する。

授業の到達目標 (何を理解し何が出来るようになるのか)

- ①エンジンの構成部品、名称、構造、作動が理解出来る。
- ②4ストローク1サイクルガソリンエンジンの作動が理解出来る。
- ③エンジン整備の実務において、1番シリンダ圧縮上死点の意味が理解出来るようになる。
- ④一般工具、特殊工具の使い方が理解でき、適切に使用できるようになる。

学習評価 (期末試験での主な試験項目)

- 1) 履修試験での学習評価 筆記試験100点にて総合評価する。  
整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
  1. 筆記試験
    - ①4サイクルエンジンの作動。
    - ②エンジン各部、SST、計測器の名称。
    - ③エンジン分解組付け時の注意事項。

準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。  
実習ノートをもとに、各装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。

